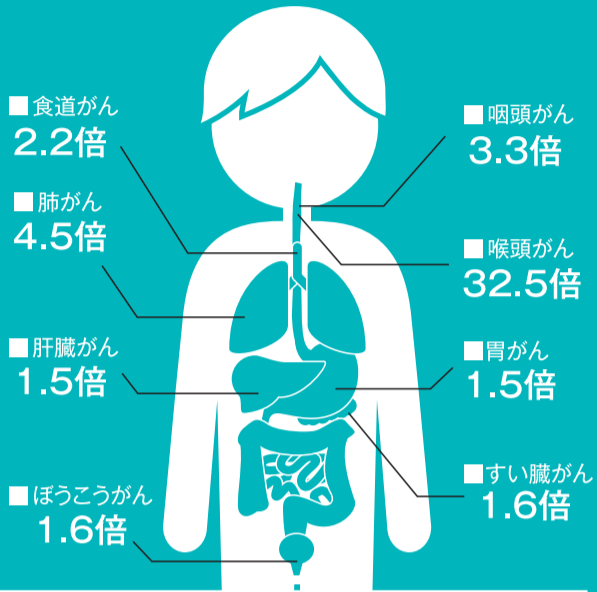


受動喫煙を防止しましょう

たばこの煙は、たばこを吸う人にも吸わない人にも健康影響があります。

■非喫煙者と比較した喫煙者のがんによる死亡の危険度(男性)

※平山 雄による計画調査(1966~82)



一次喫煙

自らの意志でたばこを吸うこと。同時に副流煙も吸い込む。

たばこを吸う人の全てのがん発生率は、吸わない人に比べて

1.7倍

二次喫煙(受動喫煙)

たばこを吸わない人が、他人のたばこの煙を吸わされている状態のこと。

主流煙

喫煙者が吸い込むたばこの煙

副流煙

たばこの火から立ち上る煙で主流煙よりも高い濃度の有害物質が含まれています

■主な有害物質 ※主流煙を1とした場合

ニコチン 2.8倍

- 血圧を上昇させ、心臓に負担をかける。
- 依存性が強く、たばこをやめられない原因になる。

タール 3.4倍

- 発がん性物質が多い。
- 肺を黒くし、働きを低下させる。

一酸化炭素 4.7倍

- 血液が酸素を運ぶのを妨げるため、心臓の負担が大きくなる。



郡山市受動喫煙防止
キャラクター
ノースモーくん

郡山市は、たばこをやめたい方の支援およびたばこの害にさらされない環境づくりを推進しています。